

## 朝会で

11月27日（月）の朝会で、まず読み聞かせをしました。11月上旬に行っていた校内読書週間に合わせて、校長の読み聞かせをする予定だったのですが、出かける行事ができてしまったので延期になり、月末のこの場で行うことにしました。

「3 読書週間」で紹介した「やまんばのにしき」を読みました。私が2年生のときの国語の教科書にのっていたものです。

続けて、人権講話を行いました。「人それぞれ」というのはじまりから、相手や周りの人の気持ちを考えた伝え方や表し方をしましょう、という内容で話しました。

毎日行っているあいさつの中での話です。元気なあいさつが返ってくると、うれしくなってこちらも元気になります。元気がなかったりあいさつがなかったりすると、具合が悪いのかなと心配になったり、あいさつを返してくれないのかと残念に思ったりします。たまにふさわしくない言葉であいさつする人もいて、これまた残念に思うことがあります。あいさつのときに気になっていることとして、ポケットから手を出して歩くようにということも話しました。姿勢や態度が悪くなってしまうこととともに、転んで手が出なかったため顔をけがしてしまった例から、安全のためにも手を出しておきましょうと話しました。私の姿を見るとポケットから手を出すのはまだいいとして、一度手を出すけれど通り過ぎるとまた手を入れてしまう様子を見て、残念に思うことなども伝えました。さらに、替え歌を歌って、残酷な言葉や汚い言葉を入れて楽しそうに歌うのを見るのがあったけれど、聞いているこちらは楽しく思わなかった、という話もしました。

自分や自分たちが楽しいと思ってふざけてしまうようなときでも、相手や周りの人がどう思うか、気持ちを考えて行動することも大切であること。楽しい気持ちで調子に乗ってしまうと、人の気持ちを考えるのが難しくなったり、気持ちがわからなくなったりして、嫌な思いをさせたり傷つけてしまうこともあるかもしれない。そうなったらいじめになってしまうこともある。そうはならないように、人と言葉を大切にしよう心がけましょう、と話しました。



この日の帰りから、さっそく良い姿勢でしっかりあいさつをする人の姿が増えて、「話を聞いてくれたんだ」「釜利谷の子どもたちはすぐ行動に移してすごいな」とうれしくなりました。また、「読み聞かせおもしろかったよ!」と言ってくれる人もいて、これまた大変うれしく思いました。

ただ物事はそんなに都合よくはいかないようで、次の日には相変わらずポケットに手を入れて歩く姿や、わざとのように変わった言い方であいさつをしていく姿もみられました。とにかくしっかりあいさつしている姿、姿勢よく歩く姿をほめていきたいと思います。